

栃木県病院協会 市民公開講座

最愛の人をがんで失ったら、どうして生きていけばよいのでしょうか。

NHKドキュメンタリードラマにもなった「妻を看取る日」の著者で、妻をがんで亡くし、自らもがんを経験された日本対がん協会会長／国立がんセンター名誉総長の垣添忠生先生にお話を伺います。

「がんサバイバー支援と グリーフケアについて」



講師

公益財団法人日本対がん協会会長
国立がんセンター名誉総長

垣添 忠生 先生

参加費無料

手話通訳有

日時

平成30年11月3日(祝土)
14:00~16:00

会場

とちぎ健康の森 講堂
宇都宮市駒生町3337-1

申込方法

「栃木県病院協会市民公開講座」と記載し、住所、氏名、電話番号、次回の開催案内資料送付の有無を明記の上、ハガキ(郵送)又はFAXにてお申込みください。

申込書で得た情報は、当日の参加確認及び次回の開催ご案内資料送付にのみ使用させていただきます。

定員

350名

申込期限

平成30年10月19日(金)

※定員を超え、ご参加いただけない方にはご連絡致します。

プログラム

(司会) 栃木県病院協会常任理事 沼尾 利郎

【開 会】 14:00

【挨拶】 14:00

栃木県病院協会会長 小松本 悟

【講演】 14:10

(座長) 栃木県病院協会会長 小松本 悟

公益財団法人日本対がん協会会長

国立がんセンター名誉総長

垣添 忠生 先生

【質疑応答】 15:40



お申込み・お問い合わせは

栃木県病院協会事務局

〒320-8503

宇都宮市駒生町3337-1とちぎ健康の森4階

TEL:028-622-2555/FAX:028-624-5988

E-mail:byoin@jp-tms.com

主催 栃木県病院協会